

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第6回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報 告（公開）

- ・中郷保健相談センターの用途変更について

（2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「消融雪施設の整備促進及び特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用」について
- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・視察研修について

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和4年9月20日（木）午後6時30分から午後7時55分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由一

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、宮川昇藏、陸川昇一、陸川陽一
（欠席3人）

- ・事務局：中郷区総合事務所 高波所長、内藤次長(総務・地域振興グループ長兼務)、宮尾市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、兒玉産業建設業務窓口班長、不破税・市民生活班長、高橋福祉班長、野坂教育・文化班長(以下、グループ長はG長と表記)

健康子育て部参事 田中靖子

8 発言の内容(要旨)

【桐山班長】

- ・会議の開催を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内(靖)会長】

- ・会議録確認を岡田龍一委員と高橋達也委員に依頼。
- ・報告事項(1)中郷保健相談センターの用途変更について報告を求める。

【田中参事】

資料「中郷保健相談センターの廃止及びコミュニティプラザへの用途変更について」を説明。

【高橋(達)委員】

中郷保健相談センターを廃止しコミュニティプラザになるとのことだが、一般の健康診断の会場としての使用はどうか。板倉に行くようなことになると中郷区の受診する人が減ってしまう恐れがある。

【田中参事】

現在行っている年4回の大人の健診はこれまでどおり継続する。結果説明会等の現在実施している保健事業も中郷保健相談センターで行うことに変更はない。

【高橋(達)委員】

- ・いつの間にか「板倉に行ってください」とならないようお願いしたい。

- ・乳幼児健診等が板倉区に統合になっていることも、子育て世代には負担になっていると思われる。

【田中参事】

子どもの健診については、板倉区で行っているが、保護者のご希望によっては合併前上越市の会場においていただく場合もある。対象の保護者にアンケートを実施した結果、同年齢の子どもを持つ親同士で情報を共有したいとのことから、板倉区との合同で行っている。専門の小児科の先生から対応いただくことができ、親同士の交流ができるなどのメリットも感じてもらっている。保健事業については、お住いの近くで実施したいの思いもあり、町内会館や公民館などで、身近な会場での実施を続けていきたい。

【竹内（靖）会長】

子育て世代や高齢者など、いろんな形で地域の声を聞きながら事業を進めていただきたい。報告事項は以上で終わる。ここで田中参事は退席とする。

協議に移る。(1) 自主的審議事項（その1）消融雪施設の整備促進及び特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用について、意見書（案）の説明を事務局に求める。

【内藤次長】

前回の協議会での意見をまとめて、意見書案を修正し作成した。資料No.1（非公開）を説明。

【竹内（靖）会長】

- ・事前資料として配布されたので、目を通してきたと思うが意見等ないか。なければ、原案のとおり市長に意見書として出すことにする。
- ・特定防衛施設周辺整備調整交付金（以下、調整交付金と表記する）の用途については、これまでも議論してきたこと。消融雪施設の整備更新についても、過去の地域協議会で何度も議題に上がった課題であり、また、今年6月に実施した住民アンケートでも雪に対する不安が大きいことが確認できた。雪が中郷区での生活において、いろんな場面で弊害になっていることであり、調整交付金が中郷区の課題解決策に向かって有効に使うことが示されることが大事である。

【高橋（達）委員】

回答は、1か月程度でもらえるか。

【高波所長】

市のルールの中で回答することになるが、出来るだけ早く回答したい。

【竹内（靖）会長】

次に協議（2）自主的審議事項（その1）中郷区型コミュニティバスのあるべき姿について、初めに、分科会の報告を各リーダーからしていただく。教育・文化チームから願います。

【高橋（達）委員】

ツアー企画の内容を中心に話し合った。ツアー実施にあたり、住民に身近な住民組織が実施することが望ましい。対象者は、高齢者が中心になると思われるが、教育文化チームの立場からは、子どもの居場所づくりにつながる取組も必要ではないかといった意見があった。

【陸川（陽）委員】

出かけることのできない子どもたちが、ゲームの時間が増えてしまうというマイナスに感じる意見もあったが、ゲームすること自体はそれほど問題ではないと思う。ゲームを取り巻く環境も変化して、何千万円の賞金がでる大会もある。子どもの居場所づくりを目的にゲームをするツアーを組んでも良いのではないかと思う。

【竹内（靖）会長】

分科会形式の話し合いは、初めての試みであるが、少人数で話すことで委員の個性が生かされてよいことだと感じている。

【竹内（昭）委員】

実施するツアーも、対象者や目的を工夫しいろんなことが出来ると面白いのではないか。

【竹内（靖）会長】

続いて、観光産業チームの報告を求める。

【岡田委員】

現状の問題点について、話し合った。利用者が少ないことについては、タ

クシー業者とのやり取りに負担を感じているのではないかとの観点から、予約代行を住民組織に委託してはとの意見があった。

ツアー内容については、中郷区の特徴でもある温泉の利用と関山演習場の見学が有効であるとの意見にまとまった。また、観光に携わる商工会、妙高サンシャインランド、ひばり荘との意見交換も必要。

【竹内（靖）会長】

地域福祉チームについては、高齢者を中心にニーズを把握することが大切だが、コロナ禍でやや出不精になっている現状がある。心のケアを含め、民生委員などと意見交換しながら進めていきたいと考えている。

以上、分科会の内容を受けて、事務局でまとめた独自予算への提案について説明を求める。

【桐山班長】

資料No.2（非公開）について、説明。

【竹内（靖）会長】

今ほど説明あった内容で、次年度の予算要求につなげたい。

まずは、事務局案でやってみることが大切である。委託の方法も、事務局案が理想的だと考える。意見等ないか。

【高橋（京）委員】

内容に問題はないが、いかに参加者を集められるかが肝心。ツアー参加者がいなければ、検証もできない。

運行の企画は住民組織になるが、地域協議会委員も知恵を絞って、より良い案を考える必要がある。

【竹内（靖）会長】

いろんな人を巻き込んで実行することが中郷区の良さであり、大事である。地域協議会委員も含め、多くの意見を聞きながら実施していくことで、今回の地域独自の予算へ提案することとする。引き続き、中郷区型コミュニティバスのあるべき姿については、協議していくこととする。

次に協議（3）視察研修について、事務局より説明を求める。

【桐山班長】

資料No.3 について、説明

【竹内（靖）会長】

本日は、決定する予定はない。次回の地域協議会までに、各自意見を出していただきたい。

【宮川委員】

小布施町が良いのでは。町全体が美術館的になっていて、観光客に開放されている民家の庭などもある。中郷区と比較できないところもあるが、まちづくりの取組としては参考になると思う。

もう一つの候補地としては、十日町市がある。田んぼの中に展示物があったり山を美術館としたり、面白い取り組みをしている。

【竹内（靖）会長】

宮川委員を、視察研修班長に指名する。他の委員も、次回までに検討をお願いし、早めに事務局に伝えてほしい。

その他ないか。

【桐山班長】

昨年度、意見書を提出し、今年度、予算化され実施されている「ずっと大好き中郷未来へのバトン事業」について、地域協議会としてまとめた場面を想定しているか。

【竹内（靖）会長】

各事業の工程が揃えば、お披露目的なことをしたい。視察研修の日程もあり、11月はスケジュール的に難しいと思うが、どこかで実施したい思いがある。

本日のまとめとして、自主的審議事項（その1）消融雪施設の整備促進及び特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用については、意見書を提出する。

自主的審議事項（その2）中郷区型コミュニティバスのあるべき姿については、地域独自の予算として要求することとする。

視察研修は、宮川委員を班長とし次回の地域協議会で決定していく。

分科会については、それぞれに今後も継続していただきたい。お忙しい方ばかりで時間をとることが難しいと思うが、これからの協議会につなげていくために大切になるのでご理解いただきたい。

その他になるが、さとまる学校で春に行った通学路の安全点検結果を町内会長に配布する。今後の動きとして、小学校6年生が総合学習の一環で、地域に貢献できることを考えようということで、地域に出での活動が始まるようだ。中学校の職場体験が3年ぶりに行われる。区内8事業所の協力で実施される。見かけたら声がけをしていただきたい。

【桐山班長】

情報提供をひとつ。大学との連携事業として、新潟大学の学生が二本木駅を活用した地域活性化に取り組むことになった。月1回程度の訪問を予定している。

【竹内（靖）会長】

以上で、本日の会議を終了する。

次回の地域協議会は、10月6日（木）18時30分からとする。

団体等から地域独自の予算の取組が提案され、総合事務所で取りまとめた内容を共有することとしたい。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:0255-74-2411(内線165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。